



# 第 1 日 社 会

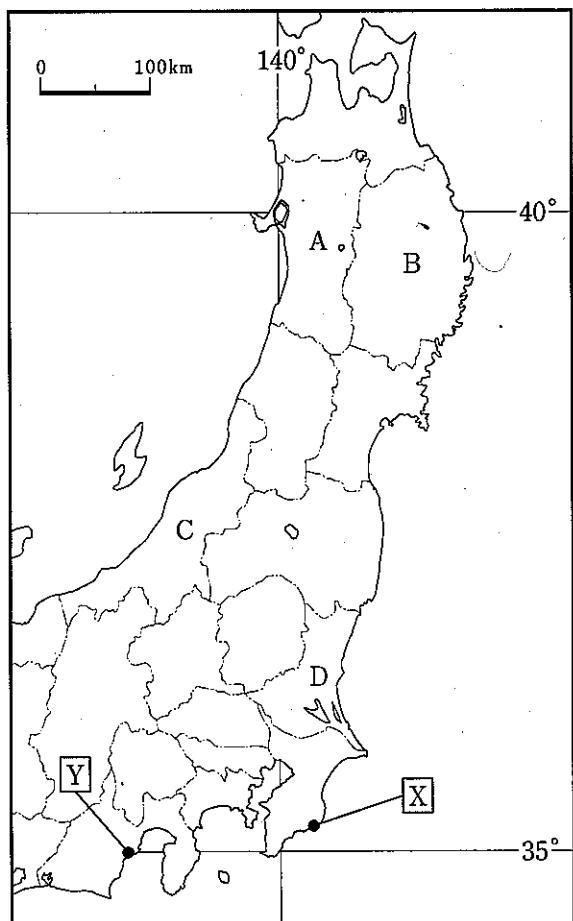
(10:40~11:30)

## 注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて7ページあり、問題は**1**から**4**まであります。これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

① 下の地図を見て、次の1～4に答えなさい。



1 次の(ア)～(オ)のうち、北緯40度の緯線が通っている国をすべて選び、その記号を書きなさい。

- (ア) アメリカ合衆国 (イ) ノルウェー  
(ウ) ブラジル (エ) 中華人民共和国  
(オ) オーストラリア

2 地図中のA～Dの県は、次の表中のⒶ～Ⓔのいずれかの県と一致します。Ⓐ～Ⓔのうち、Bにあたる県はどれですか。その記号を書きなさい。

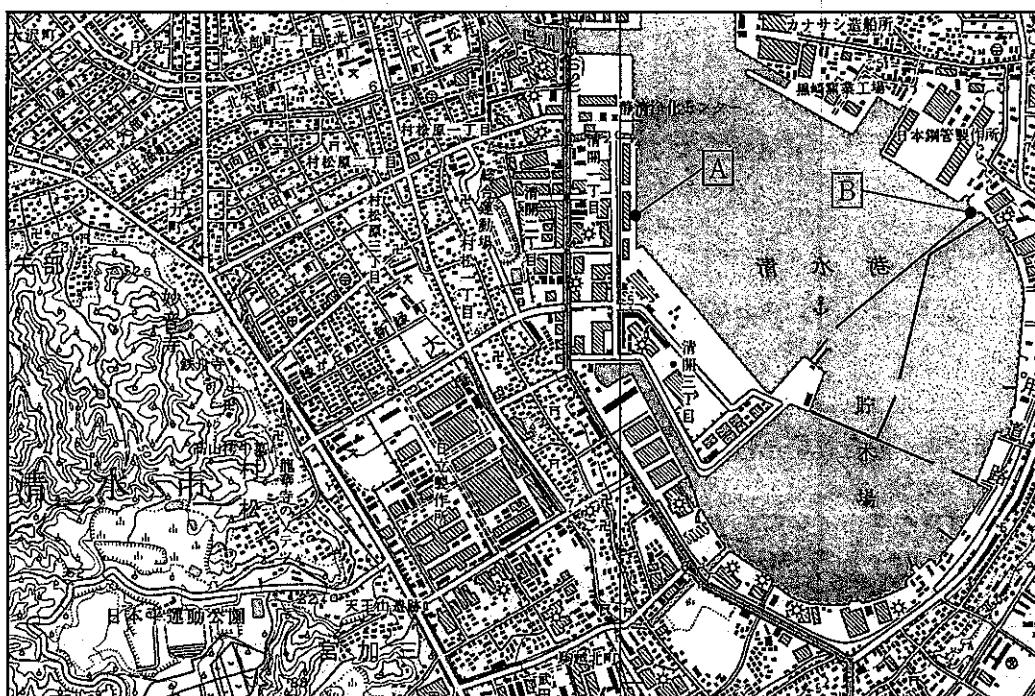
県	県庁所在地の1月の平均気温(℃)	県庁所在地の1月の降水量(mm)
Ⓐ	-2.1	50.6
Ⓑ	2.8	45.4
Ⓒ	-0.1	114.4
Ⓔ	2.6	180.3

(理科年表 平成16年による。)

3 地図中の都市[X]では、稚魚などを人工的に育成して放流し、水産資源をふやしながらとる漁業がおこなわれています。この漁業を何といいますか。次のア～エのうちから選び、その記号を書きなさい。

- ア 沖合漁業 イ 沿岸漁業 ウ 栽培漁業 エ 飼養業

4 次の2万5千分の1の地形図は、地図中の都市 **Y** の一部を示しています。これを見て、下の(1)・(2)に答えなさい。



(2万5千分の1 地形図「静岡東部」 平成10年発行による。)

(1) 地形図中の地点 **A** から地点 **B** までの直線の長さは、地形図上で4.4cmあります。これは、実際の距離にすると何mになりますか。その距離を書きなさい。

(2) 次のア～エのうち、地形図から読み取れることを述べた文として適切なものはどれですか。  
その記号を書きなさい。

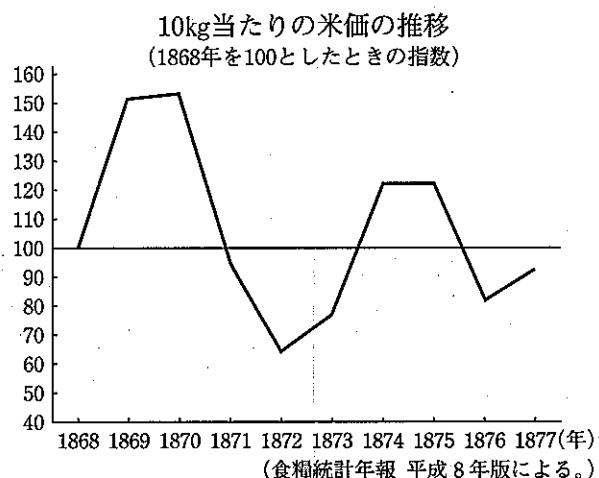
- ア 港に面したところに工場が見られる。
- イ 荒地のまわりに針葉樹林が見られる。
- ウ 総合運動場が地点 **A** の東に位置している。
- エ 最も高い地点の標高は52.6mである。

- ② 下の略年表を見て、次の1～6に答えなさい。ただし、略年表中の①・②は、それぞれ→の示す期間を表したものです。

世紀	日本の経済の主なことがら
7	
8	A 和同開珎が発行される
9	
10	
11	
12	B 平清盛が兵庫の港を整備する
13	
14	
15	C 足利義満が勘合貿易を始める
16	織田信長が楽市・楽座を実施する ①↓
17	
18	
19	D 富岡製糸場がつくられる ②↓
20	石油危機がおこる

- 1 Aのころ、日本は、進んだ制度や文化を取り入れるために、使いを中国に送りました。この中国の王朝を何といいますか。その名称を書きなさい。
- 2 Bのころ、平泉を中心に藤原氏が栄えていました。次のア～エのうち、この藤原氏が建てた建物はどれですか。その記号を書きなさい。
- ア 平等院鳳凰堂 イ 中尊寺金色堂  
ウ 東大寺南大門 エ 慈照寺銀閣
- 3 Cの貿易で勘合が用いられたのはなぜですか。その理由を、「倭寇」の語を用いて、簡潔に書きなさい。
- 4 次のア～エは、いずれも①の期間中の政治に関する事柄です。ア～エのことがらを、年代の古い順に並べ、その記号を書きなさい。
- ア 享保の改革 イ 天保の改革  
ウ 大政奉還 エ 寛政の改革

- 5 Dのころ、地租改正がおこなわれ、税を納めさせる方法が、一定量の米によるものから現金によるものに変わりました。税を納めさせる方法が変わったのはなぜですか。その理由を、右のグラフとともに、簡潔に書きなさい。

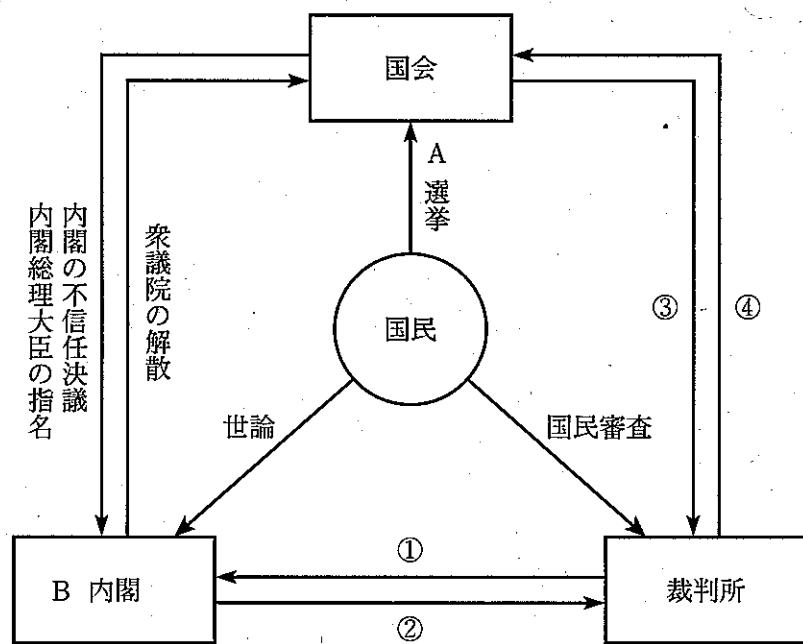


- 6 ②の期間中に、大日本帝国憲法が制定されました。次のア～エのうち、大日本帝国憲法の内容を述べたものはどれですか。その記号を書きなさい。
- ア 内閣は、国会に対して連帶して責任を負う。  
イ 国会は、貴族院と衆議院から構成される。  
ウ 天皇は、国及び国民統合の象徴である。  
エ 国民は、すべての基本的人権を保障される。

③ 次の1・2に答えなさい。

1 次の図を見て、下の(1)～(3)に答えなさい。

日本の三権分立のしくみの一部



- (1) 図中の①～④のうち、弾劾裁判を示しているものはどれですか。その番号を書きなさい。  
(2) 図中のAに関して、次の表X・Yは、それぞれ小選挙区制と比例代表制のどちらかの選挙結果を示しています。比例代表制の選挙結果を示しているのはどちらですか。その記号を書きなさい。また、その記号が答えとなる理由を、簡潔に書きなさい。

項目	政党	a 党	b 党	c 党	d 党	その他
得票率 (%)		29	25	13	11	22
議席の割合 (%)		31	26	13	11	19

項目	政党	a 党	b 党	c 党	d 党	その他
得票率 (%)		41	28	2	12	17
議席の割合 (%)		59	27	2	0	12

- (3) 図中のBに関して、内閣総理大臣と国務大臣が出席して、政策の方針などを決定する非公開の会議を何といいますか。その名称を書きなさい。

2 金融に関して、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の文は、日本銀行について述べたものです。文中の [a] と [b] にあてはまる語はそれぞれ何ですか。下のア～エの組み合わせのうちから選び、その記号を書きなさい。

日本銀行は、中央銀行として [a] を発行します。また、国の資金の出し入れをおこなうことから「[b] の銀行」とよばれています。

ア [a] 紙幣 イ [a] 紙幣 ウ [a] 国債 エ [a] 国債  
[b] 政府 [b] 銀行 [b] 政府 [b] 銀行

(2) 日本銀行は、景気の安定などのために、一般の銀行に資金を貸し出すときの利子率を上げ下げします。この利子率を何といいますか。その名称を書きなさい。

(3) 次の表は、1998年（平成10年）から2002年までの国内の銀行の「預金の利子率」と「貸し出しの利子率」を示しています。表中の a・b には、それぞれ「預金の利子率」と「貸し出しの利子率」のどちらかがあてはまります。「貸し出しの利子率」があてはまるのはどちらですか。その記号を書きなさい。また、その記号が答えとなる理由を、銀行の利益と関連づけて、簡潔に書きなさい。

年利子率	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
a (%)	0.100	0.050	0.100	0.020	0.003
b (%)	2.388	2.244	2.221	1.998	1.919

(日本統計年鑑 平成12・13・14・15・16年による。)

4 次の資料を読んで、あと1～5に答えなさい。

資料

社会生活基本調査は、①国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動（インターネットの利用、②学習・研究、スポーツ、趣味・娯楽、ボランティア活動、③旅行・行楽）について調査し、国民の④社会生活の実態を明らかにすることにより、各種⑤行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

(平成13年社会生活基本調査報告による。)

1 次の文は、下線部①に関する日本国憲法第27条の一部です。文中の [ ] には、同一の語があてはまります。[ ] にあてはまる語を書きなさい。

「すべて国民は、[ ] の権利を有し、義務を負ふ。」

「賃金、就業時間、休息その他の [ ] 条件に関する基準は、法律でこれを定める。」

2 下線部 ② に関して、博物館の絵画などからさまざまなおとがを学ぶことができます。次の（ア）～（エ）のうち、右の資料と関係の深いおとがをして、最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

（ア）アメリカの使節が浦賀に来航して開国を求めた。

（イ）朝鮮通信使が対馬を通って江戸を訪れた。

（ウ）種子島に流れ着いたポルトガル人が鉄砲を伝えた。

（エ）オランダ人が長崎の出島で貿易をおこなった。

3 下線部 ③ に関して、日本はまわりを海に囲まれているため、外国へ旅行するためには海を渡る必要があります。次の（ア）～（オ）のうち、日本のまわりを囲んでいる海をすべて選び、その記号を書きなさい。

（ア）大西洋 （イ）日本海 （ウ）太平洋 （エ）インド洋 （オ）東シナ海

4 下線部 ④ に関して、次のア～エのうち、病気の予防や下水道の整備などをおこなう社会保障制度はどれですか。その記号を書きなさい。

ア 社会福祉 イ 公的扶助 ウ 公衆衛生 エ 社会保険

5 下線部 ⑤ に関して、政府はさまざまな調査をおこなって統計資料を作成しています。その一つである「日本統計年鑑 平成16年」によると、1970年に7.1%であった65歳以上の人口の割合が、2000年には17.3%に増加しました。1970年と比べて2000年の割合が増加した理由を、次の表とともに、簡潔に書きなさい。

年	総人口 (千人)	人口千人当たりの出生率 (人)	0歳と65歳の平均余命(年)			
			男		女	
			0歳	65歳	0歳	65歳
1970年	104,665	18.8	69.3	12.5	74.7	15.3
1980年	117,060	13.6	73.4	14.6	78.8	17.7
1990年	123,611	10.0	75.9	16.2	81.9	20.0
2000年	126,926	9.5	77.7	17.5	84.6	22.4

（日本の統計 2004、厚生労働省 平成16年版による。）

平均余命：各年齢の人たちがその後平均何年生きられるかを算出したもの。

